



心を癒される、とておきの聖地、 和歌山県にある「高野山」を参拝。

高安ニュース第5号で高野山にある高安物故者の供養塔と合祀法要について掲載したところ、多くの方から「機会があれば行ってみたい」とのお声をいただきました。そこで第6号では、5月9日(金)・10日(土)にかけ、高安義英社長ら一行の旅程をご紹介します。

いざ、高野山へ



高野山へは南海高野線を利用。難波駅から極楽駅まで、特急で約1時間30分。極楽駅でケーブルカーに乗り換え、最急勾配562.8%の線路を上り、約5分で高野山駅に到着。



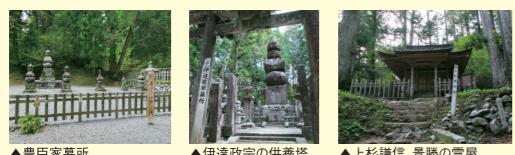
1日目

出発です!

奥の院に参拝

承知2年(835)3月21日、弘法大師が御入定された奥の院は、高野山信仰の中心として多くの人が訪れる聖地。入口である一の橋から御廟までを結ぶ約2kmの参道には、樹齢500年以上の老杉に抱かれるように墓碑や供養塔が並びます。戦国武将から一般の方まで、何と20万基以上と言われます。

高安供養塔は昭和19年建立。以来、年1回の法要を通じて、感謝と報恩の念を捧げ続けています。



宿坊体験

高安では毎年、法要と合わせて宿坊「清淨心院(じょうじょうしんいん)」様でお世話になっています。



伝統的な精進料理

夕食は、僧侶の皆さんによる手作り。ごま豆腐に、旬の野菜の天ぷら、高野豆腐の煮物など、御斎と呼ばれる仏家の精進料理です。



高野山観光



朝の勤行に参加



2日目



お土産店

寺・宿坊とともに、土産物店や食事どころも建ち並ぶ高野山。ごま豆腐や高野豆腐が人気です。

お疲れ様でした

全国3,600におよぶ末寺の宗務を司る高野山真言宗の総本山・金剛峯寺には、狩野派の絵師による襖絵、国内最大級の見事な石庭があります。



~おまけ①~

帰路、高安彰部長の発案で大阪にある「銀シャリ屋ゲコ亭」へ。引退目前の「飯炊き仙人」の白飯とおにぎりなどをいただきました。



~おまけ②~

鉄道好きな資材部・田口さんは、約2ヶ月のみの限定特急「赤い彗星の再来 特急ラピート ネオ・ジオンバージョン」を見るために難波駅へ見事、撮影に成功しました。

